

「ローマ字」とは

日本語は、ヨーロッパで生まれた文字を用いて書き表すことができます。このような書き表し方を、**ローマ字表記**といいます。ローマ字表記は、わたしたちの身の回りのさまざまなところで使われています。

ローマ字のきまり

- ① ア行の音は、母音 (aiueo) 1 字で表されます。
カ行から下の音は、2 字いじょうが組み合わされています。たとえば、カ行は、k (子音 aiueo いがい) + 母音 (aiueo) になっています。
- | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| か | き | く | け | こ |
| k+a | k+i | k+u | k+e | k+o |
| ka | ki | ku | ke | ko |

- ② 「きゃ」「きゅ」「きょ」などの音は、「kya」「kyu」「kyo」のように、3 字で書き表します。
例：電車⇒densya 金魚⇒kingyo

- ③ つまる音は、「きっぷ」⇒「kippu」のように、次の音のはじめの文字をかさねて書き表します。
例：にっき⇒nikki がっき⇒gakki



カ行

	アのたん	イのたん						
大文字	A	I	U	E	O			
	あ	い	う	え	お			
	a	i	u	e	o			
K	か	き	く	け	こ	きゃ	きゅ	きょ
	ka	ki	ku	ke	ko	kya	kyu	kyo
S	さ	し	す	せ	そ	しゃ	しゅ	しょ
	sa	si	su	se	so	sha	shu	sho
		[shi]				[sha]	[shu]	[sho]
T	た	ち	つ	て	と	ちゃ	ちゅ	ちょ
	ta	ti	tu	te	to	tya	tyu	tyo
		[chi]	[tsu]			[cha]	[chu]	[cho]
N	な	に	ぬ	ね	の	にゃ	にゅ	にょ
	na	ni	nu	ne	no	nya	nyu	nyo
H	は	ひ	ふ	へ	ほ	ひゃ	ひゅ	ひょ
	ha	hi	fu	he	ho	hya	hyu	hyo
			[fu]					
M	ま	み	む	め	も	みゃ	みゅ	みょ
	ma	mi	mu	me	mo	mya	myu	myo
Y	や	(い)	ゆ	(え)	よ			
	ya	(i)	yu	(e)	yo			
R	ら	り	る	れ	ろ	りゃ	りゅ	りょ
	ra	ri	ru	re	ro	rya	ryu	ryo
W	わ	(い)	(う)	(え)	を			
	wa	(i)	(u)	(e)	(o)			
	ん							
	n							
G	が	ぎ	ぐ	げ	ご	ぎゃ	ぎゅ	ぎょ
	ga	gi	gu	ge	go	gya	gyu	gyo
Z	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	じゃ	じゅ	じょ
	za	zi	zu	ze	zo	zya	zyu	zyo
		[ji]				[ja]	[ju]	[jo]
D	だ	ぢ	づ	で	ど	ぢゃ	ぢゅ	ぢょ
	da	(zi)	(zu)	de	do	(zya)	(zyu)	(zyo)
		[ji]				[ja]	[ju]	[jo]
B	ば	び	ぶ	べ	ぼ	びゃ	びゅ	びょ
	ba	bi	bu	be	bo	bya	byu	byo
P	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ	ぴゃ	ぴゅ	ぴょ
	pa	pi	pu	pe	po	pya	pyu	pyo

[] 中の書き方も使うことができる。() は、重ねて出しているもの。

三年上「ローマ字」

単元

氏名

年組番

チャレンジシート① 学ぶ

学習日 年 月 日

三年上「ローマ字」	単元
氏名	年組番
12問	

1 次のローマ字をひらがなで書きましょう。

- (1) usi (2) tyōtyo (3) syukudai (4) kitte
() () () ()

2 表を見ながら、□や○の中に文字を入れましょう。

- (1) ○me (2) □okei (3) ek○ (4) ud○n
(あめ) (とけい) (えき) (うどん)

3 次のひらがなをローマ字で書きましょう。

- (1) うま (2) はな (3) くるま (4) めだか

じぶんだけのすてきなめいしを作ろう。



ふきだしの中に、当てはまる言葉をローマ字で書いてみましょう。ふきだしの中の言葉をもとにして、あなただけのすてきなめいしを作りましょう。『 』の中は、めいしにかき入れたいことを自由を考えて書きましょう。

『nen,kumi』

『namae』

『sukina benkyô』

『gakko』

『nigaoe』

『sukina tabemono』

『syumi』

『hitokoto』

『sukina dōbutu』

三年上「ローマ字」

単
元

氏 名

年

組

番

9 問

チャレンジシート③ ジャンプ

学習日

年

月

日